

報道関係者 各位

静岡県静岡市におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す

新型インフルエンザウイルスについて

静岡県静岡市から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスが分離され、薬剤感受性試験により薬剤耐性が確認されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

市長

() 副市長

(平成 22 年 2 月 26 日)

◆ 件 名	<p>オセルタミビル(商品名タミフル)耐性を示す新型インフルエンザウイルスの確認について</p>												
◆ 内 容	<p>新型インフルエンザの感染が確認された3名の患者から、オセルタミビル(タミフル)耐性の新型インフルエンザウイルスを4例、PCR検体から確認しました。その概要についてお知らせします。</p> <p>なお、厚生労働省によれば、オセルタミビルに対する耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの重篤度(病原性)には、直接影響を及ぼすものではないとされています。</p> <p>また、この資料に挙げています患者の方は、すでに回復し、周囲へのタミフル耐性ウイルスを疑う感染も確認されておりません。</p> <p>1 検査の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年1月20日(水)に、静岡市環境保健研究所において遺伝子解析を実施し、4例のオセルタミビル耐性マーカーH275Y(遺伝子変異)が検出されました。 ・平成22年2月25日(木)に、国立感染症研究所で実施した薬剤感受性試験の結果では、4例とも、オセルタミビルに耐性^{*1}があり、ザナミビル(商品名:リレンザ)に感受性^{*2}があることが確認されました。 <p><small>※1 耐性とは、ウイルスが薬剤に対し抵抗力を持ち、薬剤が効きにくくなることです。 ※2 感受性とは、ウイルスに対して、薬剤が有効に作用することです。</small></p> <p>2 感染者の概要・経過</p> <p>【患者A】</p> <p>(1) 概要 葵区在住 7歳男児</p> <p>(2) 経過</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">平成21年5月</td> <td style="width: 10%;">26日</td> <td>市トリアージセンター受診 市内病院入院 症状は、咳・咽頭痛・発熱 タミフルを投与</td> </tr> <tr> <td></td> <td>31日</td> <td>陰性確認のための検体を採取①</td> </tr> <tr> <td>平成21年6月</td> <td>1日</td> <td>陰性確認のための検体を採取②</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5日</td> <td>PCR検査で陰性となり、退院</td> </tr> </table> <p>※この入院は、入院勧告に基づく入院であり、当時、PCR検査で陰性となることを退院の条件としていました。</p>	平成21年5月	26日	市トリアージセンター受診 市内病院入院 症状は、咳・咽頭痛・発熱 タミフルを投与		31日	陰性確認のための検体を採取①	平成21年6月	1日	陰性確認のための検体を採取②		5日	PCR検査で陰性となり、退院
平成21年5月	26日	市トリアージセンター受診 市内病院入院 症状は、咳・咽頭痛・発熱 タミフルを投与											
	31日	陰性確認のための検体を採取①											
平成21年6月	1日	陰性確認のための検体を採取②											
	5日	PCR検査で陰性となり、退院											

【患者B】

(1) 概要 駿河区在住 4ヶ月女児

(2) 経過

平成21年11月	3日	発症
	4日	市内病院を受診、入院 症状は、下痢・嘔吐・発熱 タミフルを投与
	5日	検体を採取
	7日	軽快し、退院

【患者C】

(1) 概要 葵区在住 4歳男児

(2) 経過

平成21年11月	4日	発熱、近医受診、タミフルを投与
	5日	体温が下がり、軽快する
	7日	咳が出はじめ、症状が悪化する
	8日	呼吸困難の症状が強く出たため、再度、 近医を受診、市内X病院を紹介される 市内X病院から市内Y病院へ移送 ICUに入院、酸素吸入、検体を採取
	16日	退院

3 その他

昨年12月末までにおいて、本市では、環境保健研究所で薬剤耐性変異の遺伝子解析を343例実施しており、4例（患者Aは2検体）の遺伝子変異を検出しております。

なお、平成22年2月25日までに、この事例を除いて、静岡県下では1人の患者から、全国では57人の患者から、それぞれ、遺伝子変異が確認されております。

※報道に際しましては、患者の方のプライバシーに十分に配慮いただくよう、お願いいたします。

◆ 別紙資料	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し			
担当課 または 問い合わせ先	局・部	保健福祉子ども局 保健衛生部	課名	保健衛生総務課
	広報主任者	村田 年秀	担当者	白鳥 浩司
	電話	直通221-1549 内線81-2693		